

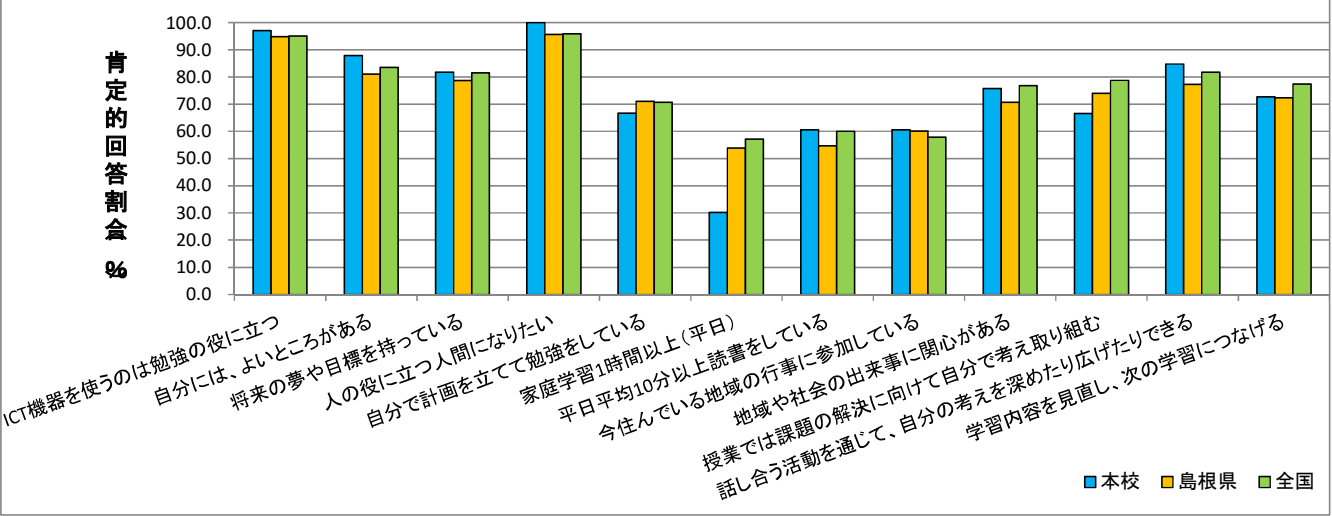
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○漢字の書き取り、必要な情報の読み取りは比較的良好にできていた。 ●問題文を最後まで読む力が弱い。 ●書く力が弱い。記述式問題ができていない。	・読書時間を確保し、読書量を増やす。 ・授業の中で書く時間を確保し、書く練習を積み重ねる。
算数	○比例に関する問題がよくできている。 ○「変化と関係」の領域は理解がよくできていた。 ●記述式の問題に無回答が多い。 ●図形に関する基本理解が十分にできていない。忘れている。	・小テストなどで復習問題に継続的に取り組む。 ・記述の問題にも取り組み、練習を積み重ねる。

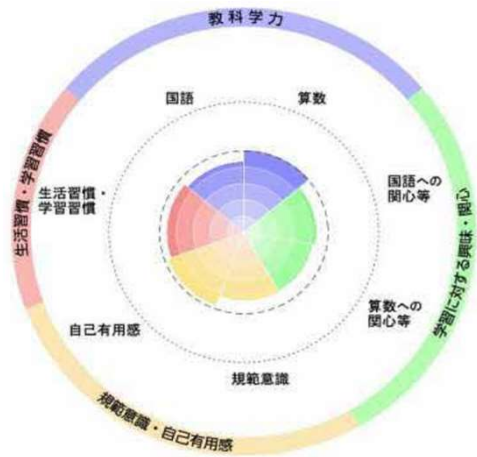
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○「自分にはよいところがある」「人の役に立つ人間になりたい」の項目で肯定的な回答が多い。 ●家庭での学習時間が少ない。 ●肯定的な回答であっても「できる」「している」などの回答率は低い。	・家庭との連携(自学強化週間などの設定)とその評価を行う。 ・自己肯定感や自己有用感をもてるような活動を取り入れ、自信をもって行動できる子どもを育てる。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を校内研究として推進していく。

【受検者数】  
33 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。